

「計算機等の運用管理支援及び監視業務」の落札者の決定について

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）（以下「法」という。）に基づく民間競争入札を行った「計算機等の運用管理支援及び監視業務」について、次のとおり落札者を決定しました。

1. 落札者の名称

株式会社日立システムズ

2. 落札金額

137,400,000 円（税抜）

※実施期間（令和 8 年 4 月から令和 10 年 3 月までの 2 年間）の総額

3. 落札者決定の経緯及び理由

「計算機等の運用管理支援及び監視業務に係る民間競争入札実施要項」に基づき、入札参加者（1 者）から提出された技術提案書等について審査を行った結果、要求項目を満たすことを確認した。令和 7 年 11 月 28 日に開札した結果、最低価格落札方式により、上記の者が落札予定者となった。その後、法第 15 条において準用する法第 10 条に規定する欠格条項の該非確認を経て、この度、落札者として決定した。

4. 落札者における当該公共サービスの実施体制及び実施方法の概要

落札者が実施する業務は、当機構の計算科学センターが運用管理する各種計算機システム、ネットワークシステム及び関連設備の安定運用を確保するとともに、それらのシステム及び機構職員等の管理する機器の利用支援を補助することを目的とする運用支援業務であり、システムの利用者やアカウント情報の管理、利用者からの問い合わせ対応などが主要な業務である。なお、本業務は 24 時間 365 日対応が必要である。

本業務の実施に当たっては、昼間の業務は、運用管理支援業務責任者及び運用支援技術者の常駐により実施される。また、夜間・休日の業務は、機構外におかれた監視体制の技術者及び関連設備障害時対応保守員で実施される。実施方法については、仕様書並びに業務運営の具体的な方法及びその質の確保等について作成した技術提案書等に基づき適切に実施する。

以上